

野々市フォーラム

活動の期間	調査研究、研修、 要望・陳情の場所	活動の種類	報告書のページ
令和6年5月8日から 令和6年5月10日まで	滋賀県大津市	研修	P 2
令和6年7月2日から 令和6年7月4日まで	岡山県岡山市 沖縄県沖縄市 広島県福山市	調査研究	P 6
令和6年10月9日から 令和6年10月10日まで	岩手県盛岡市	研修	P 9

令和6年5月27日

野々市市議会議長 北村大助 様

(報告者)

会派名〔又は〕 野々市フォーラム
代表者〔議員名〕 中村 義彦

政務活動報告書

下記のとおり政務活動（調査研究、研修、要望・陳情）を実施したので、報告します。

期 間	令和6年5月8日から 令和6年5月10日まで
研 修 場 所	公益財団法人全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所 滋賀県大津市唐崎二丁目13-1
参 加 者 氏 名	畠中勝己、田中陽子、三納昭博
目 的 (調査・視察事項)	地方議員が理解しておくべき地方自治に関する法整備や基本的事項 地方分権改革の経緯について学び、併せて地方自治を取り巻く最新 の動向について様々な観点から考える事を目的とする。
調査・視察概要	令和6年度市町村議会議員研修【3日間コース】 第1回「新人議員のための地方自治の基本」 5月8日(水) 13:00～15:35 【講義】地方自治制度の基本 同志社大学政策学部 大学院総合政策科学研究科 教授 野田 遊 15:50～17:00 【講義】地方議会制度について 全国市議会議長会 企画議事部 副部長 篠田 光洋 5月9日(木) 09:00～12:30 【講義】地方議会と自治体財政

静岡県立大学経営情報学部

教授 小西 敦

13:30~14:40

【講義】地方議会と政策～条例検討中心に

新潟大学 副学長・経済科学部

教授 宍戸 邦久

14:40~17:30

【演習】説明・意見交換・発表

5月10日（金）

09:30~12:00

【講義】これからの地方議員に期待されていること

近畿大学法学部

教授 辻 陽

研修内容

令和6年5月8日（水）

今回は、北海道から九州までの160名の市町村議会議員が、参加しました。

13:00~15:35

「地方自治制度の基本」同志社大学政策学部大学院総合政策科学研究科 教授 野田 遊

憲法第92条で地方自治の本旨＝住民自治＋団体自治である。

地方分権（単一制と連邦制）・（中央地方関係の側面）について説明を受け、日本の制度や側面について基本的な自治のあり方について学ぶことができた。また、財政では、歳出・歳入・財政力指数について説明を受け、石川県などの財政力指数平均が全国の平均値であることも確認することが出来た。

行財政改革での地域連携では、野々市市の（白山・野々市広域連携）による効果についても理解する事が出来た。

15:50~17:00

「地方議会制度」全国市議会議長会 企画議事部 篠田 光洋

地方自治法における地方議会の役割、議員の職務等の明確化、令和5年4月26日に地方自治法が可決・成立し法律上で明確化されました（同年5月8日施行）

よって、（議会の議員は、住民の負託を受け、誠実にその職務を行わなければならない）となる。

地方議会の権限においては、議員⇄議会⇄住民⇄長（執行機関）
そして、国・都道府県など、関係性を理解できた。

令和6年5月9日（木）

09:00～12:30

地方議会と自治体財政 静岡県立大学経営情報学部

教授 小西 敦

予算・決算常任委員会設置状況について、それぞれ分けた委員会
や、常任ではなく、特別委員会方式にしている自治体の存在など、
各自治体に委ねられている点についても学習できた。

予算全般としては、歳入歳出、債務負担行為、地方債・一時借入金
歳出予算の流用等、運用面も学ぶことができた。

年度地方財政計画での読み解きや、地方交付税と国の政策、国庫支
出金について学べた。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の概要、健全化判断比
率の検証及び財政状況資料集の入手手段等、今後、野々市市の財政
分析、他市町村との比較検討に応用できると思われる。

13:30～17:30

地方議会と政策～条例検討中心に新潟大学 副学長・経済科学部

教授 宍戸 邦久

国の法には、憲法・法律・政令・府省令の順にある。

地方公共団体には、条例・規則があり、条例が規則に優先

条例は、議会の議決を経て制定（議会の議決が必要）

規則は、長や行政委員会が制定（長の決裁のみで可能）

法令の解釈原則や、自治事務に対する特段配慮義務など技術的な
項目にも学べたことは、今後の参考にしたい。

実在する市町村条例について、グループで（検討・討議・討議結果
の発表・質疑）を行い、条例審査や条例立案にあたっての視点や考
え方等に対する理解を深める事ができた。

令和6年5月10日（金）

09:30～12:00

これからの地方議員に期待されていること 近畿大学法学部

教授 辻 陽

執政制度について、（議院内閣制・大統領制）の比較

議院内閣制の議員は、政府を構成するための要素となる

大統領制の議員は、政府を構成するための要素とならない。

政務活動費については、2012年に法改正があり、「政務調査費」か

	ら「政務活動費」になり、その運用範囲も幅広くなった。 地方分権改革と地方議会においては、地方分権一括法が 2000 年に施行され、機関委任事務の廃止と自治事務・法定受託事務の設定三位一体改革では、国から地方への財源移譲により自治体で差配できる予算額が増加に転じた。 地方議会・議員に関する今後の課題 なり手不足の根本的な問題として、議員の専門化が可能なのか、それとも専門化できないことを前提とした運営を目指すのか？ どのようにして議員の多様性を確保するのか（個人事業主や、会社を定年退職した高齢者が多く議員になっている現状である。 二元代表制の重視（首長と議会の水平的な権力分離を目指す）、それとも（政党を軸とした会派間の政策論争）か、など今後の課題として取り組む問題である。
--	--

令和6年7月5日

野々市市議会議長 様

(報告者)

会派名〔又は〕 野々市フォーラム
 代表者〔議員名〕 中村 義彦



政務活動報告書

下記のとおり政務活動（調査研究、研修、要望・陳情）を実施したので、報告します。

期 間	令和6年7月2日から 令和6年7月4日まで
視察、研修、要望 陳 情 の 場 所	岡山市役所 岡山市北区大供 1-1-1 沖縄アリーナ 那覇市山内 1-16-1 福山市役所 福山市東桜町 3-5 タカオ株式会社 福山市御幸町中津原 1787-1
参 加 者 氏 名	中村義彦、向田誠市、小堀孝史、畠中勝己、田中陽子、三納昭博
目 的 (調査・視察事項)	1. 岡山市 (台湾新竹市との友好交流協定に至った経緯及び交流事例について) 2. 沖縄アリーナ (施設の特徴及びアリーナ建設までの経過、建設後の波及効果と収支について) 3. 福山市 (ブランディングの考え方・協議会の設立経緯及び委員構成・ブランド認定品のフォローアップ体制について) 4. タカオ株式会社 (これまでの公園整備とこれからの公園整備について、全国の事例について)
調査・視察概要	1 岡山市役所では、新竹市との友好交流について (1) 経緯については、平成12年に日台友好都市議員連盟を結成し、交流がスタート、数回にわたり議会の相互訪問や子ども海外派遣事業を通して平成15年4月21日に友好交流協定を締結。 (2) 交流事例は、議員連盟が主導して、民間団体との交流が始まり、映画祭をきっかけに商工会議所も交流を始める。職員の交流、職員の相互派遣、また、剣道交流は新竹市の剣道協会との交流がきっかけで、現在も続いている。

2 沖縄県那覇市の沖縄アリーナを現地視察

(1) 建設については、市長の公約の下プロジェクト推進室を発足しアリーナ建設計画に着手。「する」施設ではなく「魅せる」施設をコンセプトに、令和3年に竣工となり現在に至った。

(2) 収支・稼働率については、初年度から継続して黒字を達成しており指定管理料についても、指定管理者と協議の上で令和4年度は年度途中で減額、令和5年度については、指定管理料は支払っていない、また、アリーナの令和3年3月28日からの供用開始後の稼働率として、令和3年度が27%、令和4年度が45%、令和5年度が61%、となっている。

(3) イベント開催の内訳として、スポーツが50%、コンサート13%、MICE18%、その他19%、となっており、本アリーナは、「スポーツを中心とした多目的施設」であるため、想定通りであったが、その際は、Bリーグのバスケットボールチームの本拠地として十分に使用可能であるばかりでなく、市の行事（成人式等）や各種イベントでも使用しやすいように、床はコンクリートになっておりその用途に併せた造りで、収容人員一万人のコンサートホールとして運用もできる。

(4) 特徴として、トイレ事情に考慮されており、各エリアごと、各階ごとに、空きトイレの状況が一目でわかるようになっており、個室の空きも一目でわかるような工夫がされている。また、幼児が退屈しないようなデジタルゲームを用いたプレイルームが設置され、子守をする人も中のイベントを聴取できる工夫もされていた。

また、当初は管理団体を通して補助金を支払っていたが、本年度は、運用収益で十分に成り立っているため市の支出は無い。

3 福山市役所では、「福山市都市ブランド戦略」について

(1) 都市型ブランド戦略で目指すものとして、都市そのものの魅力を高め、地域への誇りと愛着を深める事により、交流人口や定住人口の増加、地域産業の活性化に結び付ける。

(2) 都市に対する誇りと愛着が深まる。⇒都市の活性化を担う人材が集まる。⇒都市の産品が広く流通する。⇒都市のファンが増える。⇒都市への観光客が増加する。

(3) ロゴマークでは「コウモリが描く、ばらのまち福山」が福山市都市ブランドのロゴマークとして、認知されている、コウモリは、福山城に多く生息していたため大正時代に市章として制定され、バラは、戦後に市民により植えられたのが始まりで、平成5年に市の花として制定されている。

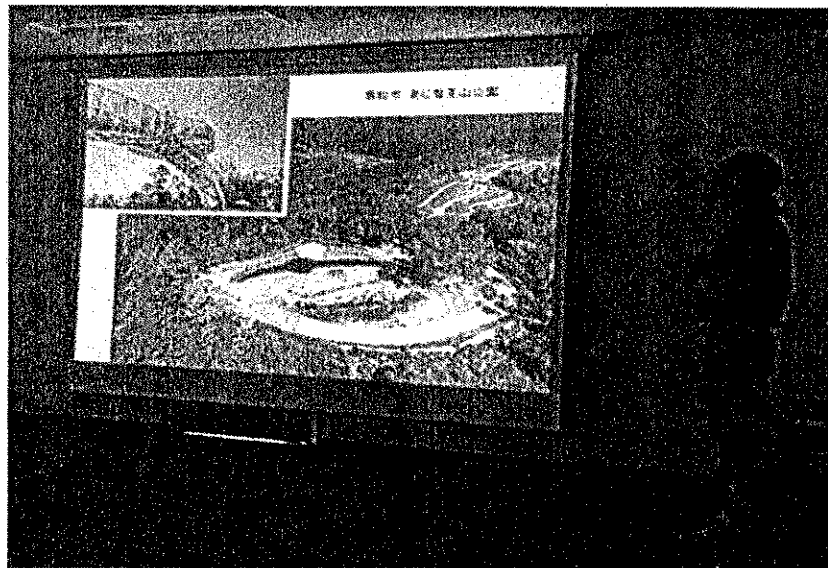
(4) 産・学・民と行政が一体となって好循環を生み出すように、
①ひとづくり（人材育成）②ものづくり（地域資源開発）③ま
ちづくり（市民活動の充実や生活基盤整備）④ブランド認定⑤
発信の5つの戦略を展開している。

(5) 福山ブランドの選定審査は、行政側は一切関係しておら
ず、県外の専門の審査委員長の人選により、選ばれ認定された
後は、3年間の認定期間が過ぎ、ブラッシュアップしないと、
再認定されない、という厳しい対応がなされている。

4 タカオ株式会社では、公園やテーマパークで使用されている
遊具を設計・製造から設置に至る全ての工程を一社で実施して
いる唯一の会社である。

野々市市もつばきの郷公園に屋外遊具を設置しており、市民か
ら高い評価を得ているところである。

タカオ株式会社は、遊具製造においては、全国のトップクラスで
その評価も高い会社であり、今後の中央公園整備事業において、
有効かつ参考になる事と思う。



令和6年10月16日

野々市市議会議員 北村大助 様

(報告者)

会派名 又は 野々市フォーラム
 代表者 議員名 中村 義彦



政務活動報告書

下記のとおり政務活動（調査研究、研修、要望・陳情）を実施したので、報告します。

期 間	令和6年10月9日から 令和6年10月10日まで
研修場所	トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館） 岩手県盛岡市内丸13-1
参加者氏名	中村義彦、向田誠市、小堀孝史、畠中勝己、田中陽子、三納昭博
目 的 (調査・視察事項)	全国市議会議長会研究フォーラムに参加して、地方議会の課題と主権者教育についてのパネルディスカッションを通じて様々な観点から考える事を目的とする。
調査・視察概要	10月9日（水） 14:20～16:30 パネルディスカッション 「地方議会の課題と主権者教育」 コーディネーター 井柳 美紀 静岡大学人文社会科学部法学科教授 パネリスト 土山 希美枝 法政大学法学部教授 越智 大貴 一般社団法人WONDEREDUCATION代表理事 渡辺 嘉久 読売新聞東京本社教育ネットワーク事務局 遠藤 政幸 盛岡市議会議員 10月10日（木） 9:00～11:00 「主権者教育の取組報告」

コーディネーター

河村 和徳 東北大学大学院情報科学研究科准教授

事例報告者

白鳥 敏明 伊那市議会前議長

諸岡 覚 四日市市議会議員（第 83 代議長）

服部 香代 山鹿市議会議員

研修内容

令和 6 年 10 月 9 日（水）

コーディネーターの井柳さんより、議長会による主権者教育の推進に関する決議について説明（令和 5 年 12 月 21 日）。

土山さんからは、「誰がための主権者教育」か、と題して、市民と議会・議会は主権者教育の主体か、について発表

越智さんからは、若者の政治・社会への意識から考える主権者教育の必要性について発表

渡辺さんからは、人口減少社会の未来、学校の未来を考える、について発表

遠藤さんからは、盛岡市議会の取組みとして、高校生議会を平成 29 年から実施、次代を担う高校生が選挙及び政治並びに身近な地方行政への関心を高めることについて発表

令和 6 年 10 月 10 日（木）

コーディネーターの河村さんより、「主権者教育の取組報告」
地方議会と主権者教育について、理想と現実・選挙権年齢の 18 歳引き下げの論点・選挙と選挙後の連続性を理解させる必要・現在の主権者教育で感じる限界・政治に参加する方法・アプローチを考える・議員と会うだけでも意味がある、と紹介。

白鳥さんからは、地元の伊那市で実施している、高校生の議会傍聴と意見交換会の取組みについて、事例を交えて報告

特に高校生からの意見・提案・請願の提出・常任委員会として現地を確認し執行部への改善要望等、積極的に実施事例の報告

諸岡さんからは、ワイ・ワイ GIKAI「若者と四日市」を開催する公約に基づき、令和 4 年から（高校生や大学生）を対象に実施し、その状況を、市議会だより #こども号として発行している事例の紹介

服部さんからは、シチズンシップ（市民性・市民権・公民権）教室を小学生（6 年生）から実施し、市議会や議員の仕事について理解する事や選挙の意義・投票の大切さについて勉強会を実施し、市議会として取り組んだ成果について、発表

	今回の先進地の発表を踏まえて、当、野々市市議会としても、今後の議会報告会や高校生議会の開催など、市民に更に議会をもっと知ってもらえる様な取組の参考にしていきたい。
--	--